



道徳通信

大田区立馬込第三小学校
道徳部
令和5年11月24日(金)
第4号

実在の人物

道徳の教材の中には、実在の人物が登場することがあります。歴史上の人物や偉人、現在も活躍している人など、様々な立場や職種の人が登場します。歴史上の人物は、偉大な活躍をしている場合があり、私たちの生活とはかけ離れている場合があるかもしれません。ただ、時代に関わらず、人は、迷いや悩みと共に生きているのではないのでしょうか。道徳の教科書に掲載されている実在の人物を紹介します。

学年	教材名	人物名	職種
1年	かばえんちょう じぶんだけのしゃしんを	西山登志雄 山口進	動物園の園長 写真家
2年	からすの子 おりょうり大すき！—平野レミ— 「だいじょうぶ、キミならできる」	アーネスト・トンプソン・シートン 平野レミ 松岡修造	博物学者 料理研究家 テニス選手
3年	清のゆめ—山下清— びしょぬれの本 ナホとメグ—いつもいっしょだね—	山下清 エイブラハム・リンカーン 川澄奈穂美、上尾野辺めぐみ	画家 大統領 女子サッカー選手
4年	ハートで勝負—田臥勇太— 本当に好きなことは ゆめに向かって、ジャンプ！	田臥勇太 ちばてつや 佐藤真海	バスケットボール選手 漫画家 陸上選手
5年	マリアン・アンダーソン 見えない人に幸せを 今しかできないことをがんばって！ サケをよぶ森 ブータンと共に 日本のナイチンゲール いちだ 一朵の雲 百一才の富士	マリアン・アンダーソン ルイ・ブライユ 吉田沙保里 青砥武平治 西岡京治 井深八重 正岡子規 奥村土牛	歌手 盲学校教師 レスリング選手 藩士 農業指導者 看護師 文学者 画家
6年	折り紙でたくさんの笑顔を 作業服のノーベル賞 雪の写真家ベントレー ペルーは泣いている 平和への祈りを舞踊にこめて マザー・テレサ	加瀬三郎 田中耕一 ウィルソン・A・ベントレー 加藤明 森下洋子 マザー・テレサ	折り紙作家 化学者 写真家 バレーボールの指導者 バレリーナ 修道女

道徳の授業では、様々な人物の生き方を考えることを通して、自分の生き方についても考えを深めます。今回の道徳通信では、実在の人物を取り扱った3年生の実践を紹介します。

3年生の授業の様子

エイブラハム・リンカーンは、第16代アメリカ合衆国の大統領です。アメリカの本土で起こった南北戦争において北部州側を指導し、「奴隷解放宣言」を行ったことで、アメリカ史に名を残しています。正直で誠実な人柄から「正直者のエイブ」という愛称でも親しまれていたそうです。

教材名「びしょぬれの本」（内容項目：正直、誠実）

あらすじ

エイブは本が大好きでした。けれど、家が貧しいので、村の人から本を借りて読んでいました。お母さんが、エイブの泣き声で夜中に目をさました。窓際に立てかけた本が、雨でびしょぬれになってしまったのです。借りてきた大切な本です。お父さんとお姉さんも起きてきましたが、どうしたらよいか分かりません。すると、エイブは「明日の朝に、わけを話しておわびをします。そして、あの家の仕事を手伝ってきます。」と言いました。次の日、エイブは本を貸してくれた家におわびに行きました。その家のおじさんは、エイブの話を知ると、正直に話してくれてうれしいことと、働く必要はないことを伝えましたが、エイブは自分で決めたことだと、一生懸命に働きました。



授業では、一人の人物の中に、二人の自我の役を設定しました。「正直に言うエイブ」と「正直に言えないエイブ」の役に分かれて、演技をしました。

- A 児（正直に言う） 本がぬれちゃったことをちゃんと正直に言おう。
- B 児（正直に言えない） 本を乾かして、字はちょっとだけ、汚くなっちゃうけど、それは、ちょっとだけ汚しちゃったと言えば、ごまかせるかな。
- A 児（正直に言う） びしょぬれになっちゃったことを始めに言って、10日間、働こう。
- B 児（正直に言えない） お母さんにも手伝ってもらおう。間違えて洗面所に落として濡れちゃったといえば、雨でぬれたことには、はならないかな。

自分の過ちを認めて、正直に行動することの大切さは理解していても、実際の場面では、「怒られるかもしれない」「恥ずかしい」「相手にどう思われるか気にしてしまう」などの思いから、正直に言うことができない場合もあります。

B 児は、「お母さんに手伝ってもらおう」ことを考えました。自分一人で解決ができないときには、家の人に助けを求める姿が3年生らしいです。困難な状況に遭遇したら、家の人を頼りたい、家の人に助けてほしいという思いが伝わります。子供たちにとって、家の人が一番の理解者であり、最大の味方なのでしょう。

正直にしてよかったという経験は、子供たちにとって、とても大切です。正直にした結果、怒られたり恥ずかしい思いをしたりすることしか体得しなければ、正直にすることの価値を見いだせないでしょう。私たち大人が「正直にできて、えらかったね」「その言葉を待っていたよ」と声をかけることで、子供たちは、正直であることの心地よさを自覚することにつながるのでしょう。



正直に言うエイブ役



正直に言えないエイブ役